

CASBEE 広島 2016年版 ■使用評価マニュアル CASBEE 広島 2016年版
 (仮称)アパホテル<広島駅前スタジアム口> 新築工事 欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階		評価点		重み係数		全体	
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質									2.8
Q1 室内環境					0.40		-		3.3
1 音環境				4.2	0.15	3.6	1.00		3.9
1.1 室内騒音レベル		40dB		5.0	0.40	4.0	0.40		
1.2 遮音				5.0	0.40	3.6	0.40		
1 開口部遮音性能		T-2		5.0	1.00	5.0	0.30		
2 界壁遮音性能				3.0	-	3.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	-	3.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	3.0	0.20		
1.3 吸音				1.0	0.20	3.0	0.20		
2 温熱環境				2.8	0.35	3.2	1.00		3.0
2.1 室温制御				2.7	0.50	3.4	0.50		
1 室温				3.0	0.38	4.0	0.57		
2 外皮性能		宿泊部:外壁U値→レベル5、窓U値→レベル5、窓SC値→レベル1		2.0	0.25	4.0	0.43		
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38	3.0	-		
2.2 湿度制御				3.0	0.20	3.0	0.20		
2.3 空調方式				3.0	0.30	3.0	0.30		
3 光・視環境				3.0	0.25	3.3	1.00		3.2
3.1 昼光利用				4.2	0.30	4.2	0.30		
1 昼光率		共用部:4.66%、宿泊部:1.27%		5.0	0.60	5.0	0.60		
2 方位別開口				3.0	-	3.0	-		
3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0	0.40		
3.2 グレア対策				2.0	0.30	3.0	0.30		
1 昼光制御				2.0	1.00	3.0	1.00		
3.3 照度				3.0	0.15	3.0	0.15		
3.4 照明制御				3.0	0.25	3.0	0.25		
4 空気質環境				3.6	0.25	3.5	1.00		3.5
4.1 発生源対策				4.0	0.50	4.0	0.63		
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆を採用している		4.0	1.00	4.0	1.00		
4.2 換気				2.0	0.30	2.6	0.38		
1 換気量				3.0	0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能		自然換気有効開口面積が居室面積の1/15以上		3.0	-	4.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮				1.0	0.50	1.0	0.33		
4.3 運用管理				5.0	0.20	5.0	-		
1 CO ₂ の監視				3.0	-	3.0	-		
2 喫煙の制御		禁煙フロアが設けられている		5.0	1.00	5.0	-		
Q2 サービス性能					0.30		-		2.7
1 機能性				2.5	0.40	2.6	1.00		2.5
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	3.0	0.60		
1 広さ・収納性				3.0	-	1.0	0.50		
2 高度情報通信設備対応		電話、テレビ、Cat6の通信回線が引き込まれている		3.0	-	5.0	0.50		
3 バリアフリー計画				3.0	1.00	3.0	-		
1.2 心理性・快適性				1.0	0.30	2.0	0.40		
1 広さ感・景観		天井高が2.4mと2.2mのため、平均2.3mと評価する		3.0	-	3.0	0.50		
2 リフレッシュスペース				3.0	-	3.0	-		
3 内装計画				1.0	1.00	1.0	0.50		
1.3 維持管理				3.5	0.30	3.5	-		
1 維持管理に配慮した設計		床面に防汚性の高い建材を採用している等		4.0	0.50	4.0	-		
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50	3.0	-		
2 耐用性・信頼性				3.3	0.30	3.3	-		3.3
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	3.0	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80	3.0	-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20	3.0	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.9	0.30	3.9	-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20	3.0	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		最低でも40年の耐用年数のものを採用している		5.0	0.20	5.0	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		最低でも20年の耐用年数のものを採用している		5.0	0.10	5.0	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		一部にステンレス鋼板を採用している		4.0	0.10	4.0	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		上位3種にB以上を採用している		5.0	0.20	5.0	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				2.0	0.20	2.0	-		
2.4 信頼性				3.6	0.20	3.6	-		
1 空調・換気設備				3.0	0.20	3.0	-		
2 給排水・衛生設備		節水器具を過半数以上採用している等		4.0	0.20	4.0	-		
3 電気設備		自家発電機を備えている		3.0	0.20	3.0	-		
4 機械・配管支持方法		耐震クラスA		4.0	0.20	4.0	-		
5 通信・情報設備		通信の多様化を図っている等		4.0	0.20	4.0	-		

3 対応性・更新性		3.0	0.30	2.0	1.00	2.4
3.1 空間のゆとり		-	-	1.0	0.50	
1 階高のゆとり		3.0	-	1.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ		3.0	-	1.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり		3.0	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性		3.0	1.00	-	-	
1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出		1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮		2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.2
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	3.0
1 建物外皮の熱負荷抑制	BPI:0.84	4.0	0.20	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用	全熱交換機にナイトパーズ機能がついている	4.0	0.10	-	-	4.0
3 設備システムの高効率化	[BEI][BEIm]: 0.89	2.5	0.50	-	-	2.5
4 効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価		3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価		-	-	-	-	
4.1 モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.7
1 水資源保護		3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水	節水器具を過半以上に採用している	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減		3.8	0.60	-	-	3.8
2.1 材料使用量の削減		3.0	0.11	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.22	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	止水版:エコマーク、断熱材:エコマーク、横水栓:グリーン購入法	5.0	0.22	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	LGS工法を採用している	5.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.6	0.20	-	-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用	対象物質を含有しないことを1つ確認している	4.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避		3.5	0.70	-	-	
1 消火剤		-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)	GWPが50未満のものを採用している	4.0	0.50	-	-	
3 冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	2.9
1 地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2:90%	3.3	0.33	-	-	3.3
2 地域環境への配慮		2.5	0.33	-	-	2.5
2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制	適切な量の駐車スペースを確保している等	4.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮		3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1 騒音		3.0	0.50	-	-	
2 振動		3.0	0.50	-	-	
3 悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制		3.7	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	LEDを採用している等	4.0	0.70	-	-	
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	